

週刊(毎週月曜日発行)／購読料・1ヵ年49,500円、6ヵ月27,000円(税・送料とも)／昭和55年9月26日第三種郵便物認可／発行所・株式会社 鋼構造出版／発行人・田中正幸 編集人・大熊稔／本社・東京都中央区日本橋茅場町2-2-2 三忠ビル5階 〒103-0025 電話 東京03(5642)7011(代表) F A X 03(5642)7077／大阪支社・大阪市西区西本町1-14-3 本町コスモビル 〒550-0005 電話06(6536)2601(代表) F A X 06(6536)7603／札幌支局・札幌市白石区北郷4条3丁目2-21 〒003-0834 電話011(879)7666 F A X 011(873)3636／振込銀行口座・みずほ銀行京橋支店024-1044873／郵便振替口座 東京00130-9-13713

おもな記事

- 東北鉄構連が役員会／東北地整との意見テーマを協議 (2面)
- 日形鋼は6万6000円／物調の10月資材価格調査 (6面)
- 日構専・鉄骨工学科／学生が東骨・熊谷工場を見学 (7面)
- 鉄建協／今年度共同陳情の結果をまとめる (10、11面)
- 「全国仮設安全大会」開催／建設職人基本法制定を (12面)
- 関東E Nサービス／五輪関連物件向けで東京に拠点 (14面)
- 全構協九州支部・日会／在九州商社と懇談会を開催 (16面)
- 関東版 (18面)
- 北陸版 (19面)
- J F E 鋼材／東京事業所のプラズマ機更新 (21面)
- 大成建設／ファーストクル／鉄骨構造データ連携ソフト (25面)



①中西教授が実験概要を説明②座屈の状態を観察する参加者③「SKYトラス」の端部見本④奥側の端部が変形

鋼構造実大公開実験を実施

鋼管の座屈変形耐力を確認

建築学会中国支部・広島県工業会

日本建築学会中国支部の鋼構造研究小委員会(主査 高松隆夫・広島工業大学建築工学科教授)は、広島県鉄構工業会(理事長 山本泰徳・ステントス社長)と日本建築構造技術者協会の共催で22日、岡山理科大学で第14回鋼構造実験見学会を開催した。当日は学会会員やファブなど約30名が出席し、鋼管が座屈変形するようすを観察した。

実験は「端部扁平加工鋼管の偏心座屈実験」をテーマとし、岡山県のMグレードファブ、モリヤテクノ(岡山市南区植松・守谷悟社長)が製品化している「SKYトラス」について、地震時のデータ収集を目的に岡山理科大の中西啓二・建築学科教授に委託研究しているなかの一部を公開実験とした。

「SKYトラス」は、鋼管(STK400)に端部プレスと孔あけの加工を行い、接合板でボルト接合する玄関や屋根のトラス製品。2015(2017年の期間で「端部扁平加工鋼管を用いた立体トラス構造の構造安全性に関する研究」の実験を続けており、今年度は「鋼管P160・5×3・2を用いた偏心座屈実験」として、ガセットプレート(9ミ)を含む鋼管の座屈耐力の確認などを行った。

実験では、加圧機に設置したトラス部材に数ミリ単位で力を加え、部材の変形を観測。その結果、鋼管の座屈変形は非常に小さく、力は片側のガセットプレートに集中して曲げ降伏し、プレス加工した鋼管の端部は高い耐力を示した。